

別 紙

第60回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 3 分科会	演題番号	322
題 名	LC-MS/MSを用いた魚介類中有機スズ化合物の分析		
所 属	環境衛生科学研究所		
氏 名	○宮城島 利英、柏木 久輝、小郷 沙矢香、堀池 あずさ		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>トリブチルスズ化合物及びトリフェニルスズ化合物（以下、有機スズ化合物という。）は、船底塗料や漁網防汚剤として使用されていたが、哺乳動物の生殖や代謝機能に毒性を引き起こすことが分かっており、ヒトに潜在的な健康リスクがあることが懸念されている。</p> <p>有機スズ化合物が残留している食品の摂取は、ヒトの主要な暴露経路の1つであるため、当研究所は食品として流通する魚介類のモニタリングを継続して行っている。</p> <p>これまで有機スズ化合物の分析は、国の通知法（平成6年2月25日衛乳第20号「魚介類中の有機スズ化合物について 別添2」）に基づき、GC-FPDを用いて行っていたが、測定には誘導体化が必要であることから、前処理の工程は複雑で長時間を要していた。そこで、測定にLC-MS/MSを用いて、誘導体化を必要としない簡便で迅速な試験法について検討したので報告した。</p>		